

第1回 9/29

オリエンテーション

反畑 誠一（たんばた・せいいち）先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

音楽評論家。

立命館大学産業社会学部客員教授（本講座の他、「企画研究」・専門特殊講義 SK「ポピュラー音楽論」を担当）。

社団法人全国コンサートツアー事業者協会 理事。

日本レコード大賞 常任実行委員。毎日芸術賞推薦委員。

新聞コラム「ヒットの周辺」（京都新聞など 26 紙掲載）など多数執筆中。

FMラジオ「反畑誠一のTHE BIGTIME」（全国コミュニティ FM30 局ネット）のパーソナリティ、テレビ情報番組「うたなび！」（京都放送など 12局ネット）のナビゲーターを務める。

アジア音楽市場調査・研究の第一人者でもある。



《開講オリエンテーション概要》

後期は、本講座コーディネーターである立命館大学客員教授の反畑誠一氏のオリエンテーションによって開講した。

講義ではまず、本講座の概要を紹介し、寄附をいただいている3団体について説明。また、各回の講義内容と豪華な講師陣を紹介し、本講座の学習目標を示した。その中で、レポート提出に関する学習の深め方として、レポート論題のポイントを押さえて各講義のキーワードを反映させること、読み手に自分の意見を的確に伝えることなどを指摘した。

続いて、コンテンツ産業の概念や現状、著作権法改正の概要について解説し、著作権等の基本をよく学習し、理解するよう言及した。また、時代の進化を見極め、今後の展望を考える際に必要な知識として、産業革命の観点から「デジタル技術と情報革新」について詳細に説明した。加えて、プロデューサーの役割について、ビジネスの視点から見たプロデューサーに必要な能力等を紹介し、プロデューサーに対するニーズが高まっている現状を示した。

最後に、双方向授業の実現のためにコミュニケーションペーパーを利用していることを説明し、その有効な活用方法について言及した。受講生は、第一線で活躍中の講師による授業に参加できることの有難さを実感し、学習への思いを強くした。

《受講生の感想》

●毎回の講義は講師が変わり、素晴らしい経歴を持った音楽業界、出版業界のスペシャリストが来てくださるということで、この機会を大切に多くを学びたいと考えています。マルチメディアに関わるすべての共通項として“デジタル化”が挙げられること、日本のコンテンツ産業は全体的にマイナス化していること、メディアの役割を明確化したマクルーハンの考え、さまざまな能力が必要なプロデューサーの条件など、初めて知ることが多くとてもためになりました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●音楽産業にもデジタル化、ネット化が進み、その形態にも変化が生じてきている。音楽の流通の仕方も大きく変わり、消費のあり方も社会の変化とともに移り変わっている。その現代の社会の現状をこの講義で学んでいきたい。スポーツ社会専攻でメディア系の知識は多くないので、著名な先生方の話をしっかり聞いて自分の力にしていきたい。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●前期の授業がとても楽しく、そして勉強になる充実したものだったので、後期の授業にも期待しています。映像制作に関わっていく者として、著作権の問題やコンテンツ市場の現状や展開を知るとはとても重要なことなので、しっかりと学んでいきたいと思います。

立命館大学・映像学部・2回生

●昨年一年間京都駅の会場でこの授業を受けさせてもらっていたのですが、今回とても豪華な講師の方々が来ていただけるので、とても楽しみです。著作権を昨年授業で聞いたときもとても難しく、著作権といってもたくさんの枝分かれがあり、様々な権利が今の音楽産業を守っているのだなと改めて感じました。今ネット社会と言われ、CDの売れ行きが減りネットから音楽がダウンロードできる時代において、いかに著作権が大切かということをも自分でも学んでいきたい。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●私は単位互換制度で、今立命館大学にきているのですが、この授業では、いろんすごい方をお招きして音楽などに対する様々な話を聞けるので、こんな機会減多にないし、すごく楽しみです。

京都精華大学・人文学部・2回生

●エンタテインメントやデジタル産業に大変興味があるが、それぞれのはっきりとした定義を理解していなかった。今回の講義では、定義を知って頭の中を整理することができた。自分の学びを見つけるきっかけとなるキーワードをたくさん知ることができて良かった。詳しく勉強したいと思うことがたくさんあるので復習したい。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●他の一般教養の授業は現在から過去のことを学ぶことが多いですが、この授業では、実際の現場で活躍する方々が実際の現場で現在進行中のことや未来に向けて実現したいことなどといった話を聞くことができます。前期に学んだことを思い出しながら、また補完しながら楽しく学んでいきたいと思っています。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●コンテンツ産業の現状と著作権について詳しく知ることができました。著作権の問題はデジタル化が進むにつれて重要になってくるので著作権についてもっと詳しく勉強していきたいです。

立命館大学・産業社会学部・2回生

●最近のメディアが全てデジタルになってしまったことのメリット、デメリットをもっと考えていきたいです。また、著作権問題も私たちがしっかり先を見据えていくべきだと思います。その他にもプロデューサー業もこれからどのようにしていくべきなのかをこの授業で学んでいきたいと思っています。

立命館大学・映像学部・2回生

●前期もこのデジタル/ネット文化・産業論をとって感じていたのですが、“エンターテインメント”と言っても、音楽・映画・映像・空間など様々なものがあり、また、それらのエンターテインメントはただ独創性に富んでいたらいいというわけではなく、経済的な面でもサポートがいきり、ひとくちにエンターテインメントと言っても、とても奥が深く、多くのこととの相互関係が成り立ってこそ存在するものだと思いました。後期も様々な分野の先生のお話を聞いて、そのお話を実生活で活かせるようにしたいと思います。

立命館大学・産業社会学部・1回生